

葉色が淡くなったら必ず追肥を！

草丈は長く、葉色が濃いため倒伏が心配されますが、8月は高温が予想されるので、猛暑に備えて適切な後期栄養管理が必要です。

コシヒカリ出穂期は、「平年並」の予想ですが、ほ場によりバラつきがみられます。

1 7月18日現在のコシヒカリ生育状況 (拠点9地点平均、移植日平均5月9日)

草丈(やや長) 茎数(多) 葉数(並) 葉色(濃)

	本年値	目標比・差	前年比・差
草丈 (cm)	81	108%	100%
茎数 (本/m ²)	512	119%	115%
葉数 (葉)	12.1	+0.1	-0.1
葉色 (SPAD)	35.7	+2.7	+1.8

2 コシヒカリの管理ポイント

(1) 一発基肥の追肥(出穂期12~10日前)

ア 葉色が著しく低下している場合(葉色板 3.3 以下、SPAD値 30 以下)は、必ず追肥する。

(2) 分施の穂肥(2回目:出穂期12~10日前)

ア 2回目穂肥は、幼穂、葉耳間長を確認し、適期に計画量を「必ず施用」する。葉色が薄い場合は増肥も検討する。

イ 3回目穂肥は、2回目を施用しても葉色低下が続く場合(SPAD値 32 以下のとき)は「出穂期3~6日前」に施用する。判断に迷う場合はJA や普及センターに相談する。

※ 詳しくは、佐渡米カレンダー(7月)を参照。

減減栽培では化学窒素分量の超過に注意。

3 その他の管理ポイント

(1) 斑点米カメムシの発生が多いと見込まれるため、一斉草刈り期間(7/14~29)に必ず草刈りを実施する。

農作業時はこまめな水分補給・休憩で熱中症を予防しましょう。